



The Service Club for the YMCA  
**THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU**

Affiliated with the International of Y's Men's Clubs Chartered 1950

c/o YAMANASHI YMCA 4-11-5. Chuo Kofu 400-0032 Japan  
Tel 055-235-8543

国際会長主題：私たちの未来は、今日より始まる

アジア地域会長主題：ワイズ運動を尊重しよう

東日本区理事主題：明日に向かって、今日動こう

あずさ部長主題：あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ！

甲府クラブ会長主題：楽しみながら広げよう、ワイズの心

Joan Wilson (カナダ)

Tung Ming Hsiao (台湾)

利根川 恵子 (川越)

浅羽俊一郎 (東京山手)

丹後 佳代

**甲府クラブ**

2017年6月会報

●今月の強調目標  
評価

■今月のことば■

大澤英二会員 選

「主は多くの民の争いを裁き、はるか遠くまでも、強い国々を戒められる。彼らは剣を打ち直して鋤とし、槍を打ち直して鎌とする。国は国に向かって剣を上げず、もはや戦うことを学ばない。」

旧約聖書 ミカ書 4章3節

◆◆◆ 巻頭言 ◆◆◆

「汝与えよ、さらば与えられん」

会長 丹後佳代

みなさん、チャリティー・ランお疲れ様でした。いよいよ今年度も終わりに近づいてきました。私にとってはとても忙しい1年でした。来年度の会長も引き受けることになり、「頑張ろう」という気持ちと「どうしたら良いのだろうか？」と悩む気持ちがあります。しかし、引き受けたからには「頑張ろう！」と思います。どちらかというとなげ者の私ですが、皆さんご協力をお願い致します。「汝与えよ、さらば与えられん」(新約聖書 ルカによる福音書6-38) 何年か前の例会の今月の言葉にもして頂きました。この言葉は小学生のころ私が教会に通っていた時に聞き、とても印象に残っている一節です。私はクリスチャンではありません。しかし、小学校1年生から4年生まで毎週日曜日には近くの教会に遊びに行っていました。その時の礼拝で聞いたこの一節が私にとっては、とても大切な言葉となっています。来年度も私に出来ることは積極的に実行しようと思います。より良いワイズ、より良い甲府クラブ、より良い人生のために行動しようと思います。



- 5月12日(金) 東日本区第8回文献組織検討委員会 (四谷の区事務所) 小倉会員出席
- 5月27日(土) 故竹内敏朗元国際会長お別れ会 (熱海YMCA) 渡辺隆・仙洞田会員出席

6月例会

日時：2017年6月13日(火) 会場：談露館  
担当：役員会 司会：標克明

プログラム

開会点鐘	丹後佳代会長
ワイズソング・ワイズの信条	
今月の言葉	大澤英二会員
ワイズディナー	
諸報告	
台南クラブ50周年記念例会参加報告	
東日本区大会報告	
チャリティー・ラン報告	
2016-2017年度 委員会報告	各委員長
甲府ワイズの歌	
閉会点鐘	丹後佳代会長

5月のデータ

会員数	38名	例会出席	25名
メーキャップ	1名	出席率	68%
ニコニコボックス	8,243円 (累計 72,339円)		

今後の予定

6月27日(火)	6月役員会	18:00~	山梨YMCA
7月11日(火)	7月例会(総会)	18:45~	談露館

## 5月例会報告

5月例会は5月9日(火)、ホテル談露館で開かれた。司会は廣瀬会員。会長挨拶では、台南クラブを訪問し、若い会員(40代)が多く活気があったこと、関連する介護施設を訪問して高齢化社会を実感したことなどが述べられた。今月のことばは、鈴木会員に代わって大澤会員が説明した。ワイズディナーの後、会員それぞれが、ワイズ入会のきっかけ、あるいはご自分のお仕事について語る「会員卓話」となった。

**秋山会員** 平原さんから誘われたのがきっかけで入会。JCやロータリーでもご一緒した方もいる。会社は電気製品を作成しており、25%ほどは都内へ、県内ではファナック等へ納入している。「世間に役立つ仕事」「誇れる会社」を目指し、社会貢献をしている。

**根津会員** 「やさしい手」という主に高齢者の在宅介護の仕事をしている。県内に18店舗、50事業所、八王子にも店舗があり計930名の従業員がいる。また、社会福祉法人にも関わっており、切り替えながら仕事をして



ている。関連業務をなさっている広瀬会員の紹介で入会した。現在小学生の子どもも「つぼみ」でお世話になった。例会には可能な限り出ようと思う。

**山崎会員** 30年以上も前に、平原さん、石川真一さんに誘われて入会した。今は年金生活だが、かつては油屋(ガソリンスタンド)を営んでいた。子どもは男女の双子を含む4人いる。その双子がそれぞれ双子を持ったので、孫が集まるとたいへん。

**小倉会員** 両親がクリスチャンで幼少時から甲府教会と関わりがあり、また、ボーイスカウト甲府第3団で活動していたので甲府第5団(山梨YMCA)とも交流があった。その縁で平成8年に公務員を退職して開業した時に大澤英二メンと故山本昭太郎メンから誘われ、甲府教会でご一緒していた多くのメンからも声をかけて頂いて入会した。最近では台南クラブの50周年記念式典や区大会等にメネットと共に参加して楽しんでいます。

**濟本会員** 入会は40年以上も前になるが、創立メンバーの秋山悌四郎さんや高野孫左衛門さんらがいらしゃった。40周年記念の時に会長を務め、甲斐駒に登ったり、甲府クラブの旗を作ったり、甲府21クラブを立ち上げるなど様々な事業を行った。熱海の国際大会や、韓国でのアジア大会、その他全国の大会に参加したことが思い出となっている。

**渡辺徳之会員** 長くボーイスカウト5団でリーダーを務めていた。息子もカブスカウトからお世話になった。1993年、大澤先生から誘われて入会した。クラブでは高齢化が進んでいて、出席率もよくないが、元気になるように、お手伝いをしていきたい。

**中島会員** 鶴田会員の奥さんと家内が友人関係。父の後を継いで、自分も産婦人科の医者になって医院をやっているが、今は、お産を扱わないようになった(内科・小児科・婦人科)。この時期は、学校の健康診断などもあり、けっこう忙しく過ごしている。

**中澤文雄会員** 遠藤会員に誘われて入会して38年、入会後しばらくは一番若い会員だった。父の後を継ぎ、設計の仕事をしている。また、甲府工業高校で夜間に社会人相手の授業を週二回行っている。



**二子石会員** 親戚である布能会員に誘われて、角田直人さんが会長の時に入会した。大堀廣さんと一緒に活動したり、チャリティー・ランに関わったりした思い出がある。最近では東日本区のキャビネットとして、他の部会に参加し、様々なやり方があることを知った。仕事は社会保険労務士をしている。

**ピーター・マウントフォード会員** イギリス生まれ、何となく日本に暮らすことになり、甲府に26年間住んでいる。孤独が好きだが、子どもも大きくなったので、社会を広げ、社会貢献をしたいと思って入会した。仕事は英語の教師。次年度は書記になったので、英語で報告を書くかもしれない。



**廣瀬会員** 東京の機械メーカーに就職し、33年間勤め、早期退職をして地元甲府に戻ってきた。父方のいとこである平原会員に声を掛けてもらい入会。祖母が甲府教会に通っており、自分も英和幼稚園に通っていたという縁もあるが、知り合いを増やしたいこともあった。東日本区の事務局長を務め、各地に行つて貴重な体験をした。

**内藤会員** 平原会員の熱意にほだされて入会した。元は甲府市役所に勤めていたが、七年前から甲府駅北口まちづくりに関わっている。最初、バラを植えたいという申し出が平原さんからあったときには「難しいから」とお断りした。しかし、平原さんが「ボランティアを探すから」とおっしゃるので、引き



受けた。今では立派な花を咲かせて、「ラ・ロの会」の人たちも研修旅行に行くなど、活動が根付いている。

**標(しめぎ)会員** 家内のつながりで、鶴田会員、中島会員と話をしているときに誘われた。入ってみると仙洞田さんなど知人がいることがわかった。仕事は写真を撮ること。思いがけない体験をしたり、普段会えない人に会える仕事。寒い中ヘリコプターに搭乗して具合が悪くなった時には中島先生のお世話になりました。

**露木会員(主事)** これまで各地のYMCAに所属したが、甲府はワイズとYMCAの関係がちょうどいい。横浜のように500人も職員がいると、ワイズのことが分からない職員も多いし、静岡にはかつてYMCAがなかった。YMCAも生れ変わるので協力をお願いしたい。

その後、チャリティー・ランに関する連絡などがあり、ハッピー・バースデー等の後、閉会した。(石川博)

## 闘病生活に想う

—ゆっくり生きる。ワイズとの絆—

平原貞美

5月号のブリテンの巻頭言に、丹後会長が「助け合うワイズにするために」とメッセージを發しています。現在の甲府クラブは、特定の熱意ある会員の負担によって、運営され、面目が保たれているように思います。クラブ外の諸会議はもとより、例会にも出席者が少なく、活動は以前に比べ、低調であるように感じられます。会員意識が十分に發揮されているとは、言えないようです。

これでは、変化する時代に対応するワイズ活動の未来を展望するどころの話ではありません。会長メッセージに一人一人の会員が反応して、多くの活動が活発に行われることを期待します。

この現状を深刻に受け止め、己自身の変革に挑戦しようではありませんか。もし、入会后、日の浅い会員で、活動の仕方がわからないのであれば、ベテランの会員に聞いてください。その姿勢が大切です。そして昔のことにとらわれず、現代に生きる奉仕団体としてのワイズの未来を考え、ワイズの一員としてのモチベーションを持って、活動しましょう。それがクラブへの愛着、楽しいクラブの創造につながるのです。

ワイズは、入会1年生も、5年生、10年生も皆平等な仲間です。そこに親睦が芽生え、ワイズの絆で強く結ばれるのです。ワイズは、世界でも最も古く大きな青少年を育む団体であるYMCAの発展を支えることからスタートしました。しかし100年の長き時代の移り変わりに伴い、ワイズそのものも独自の奉仕の理想を掲げ、それぞれの地域で活動する団体となり、新時代にふさわしいワイズの在り方を創り出すように方向転換を図っています。つまり「YMCAに奉仕する」だけではない団体に脱皮しつつあるのです。ワイズの未来は無限大に広がっています。甲府クラブは地域奉仕の最先端を目指して、頑張っていくましよう。

### ニコニコメッセージ

**荒川会員** 皆様、丹後会長に協力しましょう。

**済本会員** 二か月ぶりの例会出席となりました。40年を超えるワイズメン、楽しい奉仕活動に幸を感じます。

**田中司郎会員** 頑張らねば消える。ただし年齢を考えて無理のない形で。

**渡辺徳之会員** 台南クラブは若い会員が多く活動しています。甲府クラブでも若い会員が入会するよう願っています。

**遠藤会員** 甲府ワイズが活発になるよう願っています。

**ピーター会員** チャプリンの「独裁者」お勧めです。

### 5月役員会報告

▽5月23日(火) 18時30分~20時30分 山梨YMCA  
▽出席者 丹後・標・小倉・仙洞田・大澤・ピーター・マウントフォード・石川(和)・石川(博)・荒川

#### 【報告事項】

○5月例会報告 <1ページ、2ページ参照> 会員卓話は、皆さんのことを知るいい機会になった。

○チャリティー・ランについて…8時集合、片付けが終わって解散は14時の予定。YBSからアナウンサーが来るが、開会式までの予定。

○あずさ部アトム評議会…秋山・小倉・標各会員と小倉メネットが参加予定。評議会後、同会場で「たんぼぼクラブ」の15周年記念例会が開かれるので、同メンバーがそのまま参加する。

○バザー…例年よりも早く始動し、多くの方に周知するとともに、献品も多く集める。チラシも甲府21の小沢さんが作ってくださった(前向きな修正意見あり)。ここ数年、以前ほど品物が集まっておらず、バザーでの大幅な売り上げ増は期待薄。

○会計より…6月20日で締める。まだ、立替などをしている方は締切までに請求してください。

#### 【協議事項】

○6月例会について…川越の東日本区大会等、大きな行事について会員へ報告する。<1ページ参照>

○7月例会について…総会。資料作りや印刷などに役員が協力する。日程は追って連絡。

○桜植樹の件…できることなら協力したいが、甲府クラブにとっての意義を確認してから。

【その他】 使用済切手が部に送られていない。⇒終了後捜索し、倉庫で発見。来年度まとめて送る。

## 東日本区大会報告

第20回東日本区大会は2017年6月3日(土)、4日(日)に川越のウェスタ川越で開催されました。前日の2日よりゴルフコンペ、東日本区役員会、前夜祭は開催されていました。3日のオープニングセレモニー前には年次代議員会、メネットアワー、担当主事会、ユースの会がそれぞれ開催されました。

私は代議員会に参加しました。議案の1つに2019年夏に開催される予定の第28回アジア太平洋地域大会に東日本区として開催地に立候補したいという提案がありました。これに関しては開催地を東北の被災地方面としていました。しかし、意見として、2019年に開催される予定のラグビーワールドカップや2020年のオリンピックの関係もあるので会場や宿泊施設を押さえることは難しいのではないかという意見もありました。今後、実行委員会を立ち上げ、検討するということになりました。また、東日本区定款改定案も承認されました。その他の議案に関しては可決致しました。

午後からは開会式前のオープニングセレモニーに「木遣り」、バナーセレモニーが行われ、東日本区大会が開会しました。メモリアルアワーでは昨年10月に昇天なさった、鈴木孝子メネットのことも紹介されました。



東日本区アワー1、記念講演と続きました。記念講演の講師はいすみ鉄道株式会社代表取締役社長の鳥塚亮氏で、ワイズの中でも鉄道好きメンからは絶賛されていました。講演後、キャンプソングや皆さんが知っている曲を歌うコーナーもあり、盛り上がりました。

18時半から同じ会場内1階の多目的室で晚餐会がスタートしました。食べ物も飲み物も豊富でした。日本酒とワインが無く、ちょっと残念だという飲んべえのワイズもいました。しかし、地ビールが4種類サーバーで用意してあったので、その全種類を飲もうと意気込ん



でいるワイズで長い行列が出来ていました。ジャズカルテットの演奏があり、その演奏に合わせ、ダンスを楽しむワイズもいました。この晚餐会の会場は広かったため、動き回ることができ、多くの他クラブ会員との交流ができました。何度か中締めが入りましたが、みんな盛り上がっていて、なかなか終わらない、とても楽しく盛大な晚餐会でした。(丹後)

### 二日目

二日目(6月4日)は、午前9時10分からの聖日礼拝のあと、東日本区アワー2が、前日と同会場で行われました。まず4事業主任の報告は時間の関係なのか前日の理事や部長報告と重複するためか、意外とあっさりとしたものでした。続いて行われた表彰では、甲府クラブは各種献金の達成賞、それにブリテン最優秀賞の榮譽に浴しました。「毎月、多くのメンバーが執筆し、内容も読み応えのある記事が多く掲載されています。またレイアウトも毎月定形でありながら工夫が凝らされ、読者の読書意欲をそそります。」というのが表彰理由です。なお、帰宅してから表彰状の封筒の中をみましたら、CS写真コンテストの優秀賞も入っていました。会場では最優秀賞の発表だけでしたので、優秀賞というものがあつたことも知りませんでした。

引き続き、青木一芳元国際会長(千葉)の司式のもと、利根川恵子理事から栗本治郎新理事(熱海)に理事引き継ぎが行われました。私も引き続きヒストリアンを務めますので、次期役員と一緒に登壇しました。

ちょうど一年前、理事キャビネットの一員として、長野での区大会に携わりましたので、どうしてもその時と比較しがちになりますが、優劣をつけるのではなく、個性が生かされた企画・運営で、素晴らしい大会であったと思います。なお、大会登録者は418名、来年は沼津で開催されます。大勢で参加しましょう。甲府クラブ参加者:丹後・秋山・大澤夫妻・小倉夫妻・ピーター・渡辺隆・仙洞田(仙洞田)

### 甲府クラブの表彰

- ・CS献金達成賞
- ・ASF献金達成賞
- ・FF献金達成賞
- ・BF献金達成賞
- ・TOF献金達成賞
- ・YES献金達成賞
- ・RBM献金達成賞
- ・国際・交流事業グランドスラム賞
- ・CS写真コンテスト優秀賞

先月号の例会報告の、田中司郎会員の卓話記録に誤りがあつたので訂正します。「秋山平さんに誘われた」という入会の経緯を削除してください。記録した石川の勘違いでした。申し訳ありません。

## 第3回あずさ部アトム評議会

2017年5月13日(土)11時から「第3回あずさ部アトム評議会」が東京YMCA山手コミュニティーセンターで開催されました。開会式はホストクラブの東京たんぼぼクラブ藤江会員の司会で、浅羽あずさ部長の開会点鐘で始まりました。ワイズソングを一同で歌い、東京山手の尾内会員の聖書朗読、祈祷の後、歓迎の挨拶が、東京たんぼぼクラブ小原会長より「アトム評議会」の名前の由来を交えながらありました。その由来は、JR高田馬場駅の電車発車音楽が「鉄腕アトム」。その辺がヒントです。そして評議会に入りました。

司会が小山久恵書記に代わり出席確認があり、39名出席で浅羽部長の評議会成立宣言がありました。部長のあいさつは年度最後の評議会という事で部運営への協力のお礼などまとめの挨拶でした。続いて議案審議に入り、第一号議案次年度のあずさ部活動方針、重点活動が大野次期あずさ部部長より示され承認されました。部長主題は「継続は力なり、一步でも前に・そしてあがこう」です。第2号議案、次期あずさ部予算案承認の件は、提出された予算案の繰越金金額が間違っていたため、次回評議会に訂正して再度議案とすることになりました。

第3号議案の次期あずさ部部会開催日程は、2017年10月21日(土)東京西クラブホストで行う事が承認され、第4号議案の次期あずさ部評議会日程の件は、第1回評議会2017年7月15日(土)ホスト松本クラブ、第2回評議会2018年2月10日(土)ホスト甲府21クラブ、第3回評議会2018年5月12日(土)ホスト富士五湖クラブで行う事を承認。報告事項は部長報告の活動報告と第3回東日本区役員会報告があり、部のユース補助金も東京八王子クラブと東京武蔵野多摩クラブに渡されました。各事業主査活動報告があり、甲府クラブの秋山会員増強事業主査のインビテーションキャンペーンが6月まで延長されたことなど報告があり、各クラブ会長がクラブ活動報告をして閉会式となり、あずさ部部歌「あずさの道」もみんなで合唱しました。甲府クラブ参加者、秋山、小倉、小倉メネット、標。(標)

## 東京たんぼぼYサービスクラブ 15周年記念例会に出席して

2017年5月13日(土)東京YMCA山手コミュニティーセンターで13:30から東京たんぼぼYサービスクラブ15周年記念例会に出席しました。約百数十名の参加があり、午前中は同じ会場であずさ部評議会がありました。短い時間で例会会場に変更されました。

第一部記念式典は藤江会員の司会、奏楽は越智美香様で小原会長のあいさつから始まり、賛美歌、聖書朗読、祈祷そしてお祝いの言葉を、東京YMCA総主事菅谷様、東日本区理事利根川様、あずさ部部長浅羽様よりいただき、その後ピアノと歌を越智美香様、相田麻純様で数曲演奏していただきました。短い時間でしたが、たんぼぼクラブらしい式典でした。



第二部の祝会は2階に移動しました。司会が服部会員になり、お祝いの言葉はスポンサークラブの東京山手クラブ金本会長、東京西クラブ、DBC大阪なかのしまクラブ会長からそれぞれいただき、東日本区栗本次期理事の乾杯でビッフスタイルの食事をとりながら歓談に入りました。途中ビンゴゲームがありましたが、自分で花の名前をマスの中に書き花の名前の発表で開けて行くという少し変わったビンゴでした。中心のフリーの所はもちろん「たんぼぼ」でした。もちろん歌のコーナーもありました。そして15周年記念例会実行委員長越智京子さんの閉会の言葉を聞いて散会となりました。甲府クラブ参加者、秋山、小倉、小倉メネット、標。(標)



## 台南クラブ創立50周年記念式典

甲府クラブとIBCを締結している台南クラブが創立50周年を迎え、記念式典が開催される事となり、この式典へ、甲府クラブから丹後佳代会長・小倉恵一ご夫妻・渡辺徳之の4名で参加しました。

台南クラブとのIBC締結は、2001年8月に第19回のアジア地域大会が台湾・台中で開催され、この会場で締結式が行われました。この締結式には、甲府クラブから16名が参加し、今後の交流と友好とを語りました。

今回は、台南クラブの創立50周年記念会祝賀への訪問です。4月28日は羽田から台北到着後、私のテニス交流での以前からの友人謝淑女さんの案内で、新幹線を利用して台南へ、劉克全氏の出迎えを受け、ホテルへ向かいました。

当夜は、歓迎夕食会が開催され、翌日台南市の「長榮桂冠酒店」ホテルで50年の歩みを顧みでの感銘を受けた式典でありました。式典時には、丹後会長から甲府クラブからの記念品の贈呈も行われました。当クラブDBCの和歌山クラブの方も参列されておりました。

現在の台南クラブは、締結当時より若い会員が多く活動されており、活動に活気が感じられました。

訪問団は5月1日に無事帰甲しました。訪問に当たり、クラブ並びに多くの皆様にご支援頂きました事に感謝し、報告と致します。

(渡辺徳之)



## YMCA たより

定期総会が無事終了しました。山梨YMCAの財政構造はこの10年で大きく様変わりしました。英語学校が収益の半分を占めていた時代から、4本の柱で支えるスタイルになっています。すなわち、学童保育(プライムタイム)、介護保険事業(ぶどうの木)、野外活動、そして英語学校です。そして今年から5本目の柱として障がい児の放課後等児童デイサービスを立ち上げました。これらの事業が等しく安定して収益が上がるようになれば、組織は安泰なのですが、もうしばらく時間がかかりそうです。

今年の基本聖句は、今の産みの苦しみを耐え抜きたいという願いの下に選びました。ローマの信徒への手紙8章18節「現在の苦しみは、将来わたしたちに現されるはずの栄光に比べると取るに足りない」とわたしは思います。」です。2021年の75周年を見据えて、FOR ALLをキーワードに、四代目となる新会館建設を実現すべく、この夏より75周年記念募金を開始させていただきます。今後共、皆様のYMCAづくりに向けて、より一層のご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

チャリティーランが終わると本格的な夏モードに入ります。今年も初めてYMCAの門をたたく子どもたちをたくさん迎えらるよう、万全の準備をして臨みます。

(露木)

## 6月 Happy Birthday

メ	ン	根津宏次(1日)	神山玄太(2日)
		遠藤順彦(10日)	石川博(13日)
		石川和弘(17日)	
メ	ネット	渋江政江(5日)	仙洞田克子(12日)
		内藤いづみ(ピーター)(6日)	

Wedding Anniversary は該当者なし